

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,740	△1.3	194	△59.3	218	△56.8	104	△73.8
26年3月期第3四半期	2,777	99.1	478	—	505	—	398	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 208百万円 (△54.9%) 26年3月期第3四半期 462百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	21.03	20.85
26年3月期第3四半期	91.04	89.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	2,960	2,304	77.6	463.42
26年3月期	2,636	2,097	79.5	422.49

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,297百万円 26年3月期 2,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当1円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,858	△22.1	152	△73.7	151	△75.0	145	△69.7	29.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

通期の業績予想につきましては、第4四半期発売予定タイトルの販売動向による通期の業績への影響が大きいことから、現在精査中であり、修正が必要になった場合には速やかに開示致します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	5,031,300 株	26年3月期	5,022,900 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	58,000 株	26年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	4,969,482 株	26年3月期3Q	4,379,924 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や株高基調により、企業収益改善の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調を継続しました。また、昨年4月に実施された消費税増税に伴う駆け込み需要の反動は和らぎつつあるものの、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、年末商戦に向けて、各社が主力タイトルを発売しているものの、業界全体としては依然縮小傾向にあります。コンシューマゲーム業界におきましては、ソニー・コンピュータエンタテインメントから発売されている「プレイステーション」が生誕20周年となり、各種イベントやキャンペーンが展開されているほか、任天堂からもNewニンテンドー3DSが発売され、盛り上がりを見せております。モバイルゲーム業界におきましては、コンシューマゲームに劣らない質の高いアプリゲームが続々と登場しており、今後も市場は拡大していくと見られます。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、14タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツ等の配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信等を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,740,929千円（前年同期比1.3%減）、営業利益194,911千円（前年同期比59.3%減）、経常利益218,429千円（前年同期比56.8%減）、四半期純利益104,529千円（前年同期比73.8%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全14タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『ハーレム天国だと思ったらヤンデレ地獄だった。』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『htoL#NiQーホタルノニッキー』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『真 流行り神』（PlayStation3及びPlayStation Vita専用ゲームソフト）、『クリミナルガールズ INVITATION The Best Price』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『神様と運命覚醒のクロスステーズ』（PlayStation3専用ゲームソフト）、『大江戸BlackSmith』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）の6タイトルを発売いたしました。

海外市場では、『Demon Gaze』（邦題：『デモンゲイズ』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Hyperdimension Neptunia：Producing Perfection』（邦題：『神次元アイドル ネプテューヌPP』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Battle Princess of Arcadias』（邦題：『アルカディアスの戦姫』、Playstation3専用ゲームソフト）、『Disgaea 4：A Promise Revisited』（邦題：『魔界戦記ディスガイア4 Return』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Danganronpa 2：Goodbye Despair』（邦題：『スーパーダンガンロンパ2 さよなら絶望学園』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）等の8タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズの製作や当社ホームページでの通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高2,029,249千円、営業利益37,096千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツやカスタムテーマ等の配信を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高588,335千円、営業利益337,246千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE、mixi及びdゲーム向けソーシャルゲーム『ビックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高36,659千円、営業利益31,440千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されている『うたの☆プリンスさまっ♪ All Star After Secret』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うアミューズメント施設「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高86,684千円、営業損失6,852千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,960,913千円となり、前連結会計年度末に比べ323,924千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ119,945千円の増加）、仕掛品の増加（前連結会計年度末に比べ92,531千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加（前連結会計年度末に比べ191,569千円の増加）等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は656,162千円となり、前連結会計年度末に比べ116,809千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ95,000千円の増加）、売上値引引当金の増加（前連結会計年度末に比べ53,862千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、退職給付に係る負債の増加（前連結会計年度末に比べ2,714千円の増加）等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,304,751千円となり、前連結会計年度末に比べ207,115千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末に比べ94,599千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末に比べ126,539千円の増加）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、第4四半期発売予定タイトルの販売動向による通期の業績への影響が大きいことから、現在精査中であり、修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,385	1,010,331
受取手形及び売掛金	325,187	234,991
商品及び製品	82,594	95,312
仕掛品	177,929	270,460
繰延税金資産	54,893	74,625
その他	135,270	106,426
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	1,664,560	1,790,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	301,140	290,654
機械装置及び運搬具(純額)	6,099	4,592
土地	191,379	191,379
その他(純額)	29,857	37,049
有形固定資産合計	528,476	523,676
無形固定資産	9,740	28,891
投資その他の資産		
投資有価証券	404,702	596,271
その他	29,507	21,626
投資その他の資産合計	434,209	617,898
固定資産合計	972,427	1,170,465
資産合計	2,636,988	2,960,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,066	89,129
短期借入金	-	95,000
未払金	80,523	91,982
未払法人税等	68,519	41,585
賞与引当金	68,602	50,841
売上値引引当金	127,917	181,780
その他	66,952	63,343
流動負債合計	522,582	613,662
固定負債		
退職給付に係る負債	13,806	16,520
その他	2,964	25,978
固定負債合計	16,770	42,499
負債合計	539,352	656,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,185	521,920
資本剰余金	511,185	511,920
利益剰余金	1,063,582	1,158,182
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,079,081	2,175,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,168	△16,527
為替換算調整勘定	12,385	138,925
その他の包括利益累計額合計	18,553	122,398
新株予約権	-	7,201
純資産合計	2,097,635	2,304,751
負債純資産合計	2,636,988	2,960,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,777,221	2,740,929
売上原価	1,510,398	1,655,398
売上総利益	1,266,822	1,085,531
販売費及び一般管理費	788,051	890,619
営業利益	478,771	194,911
営業外収益		
受取利息	1,122	15,699
受取配当金	2,228	2,118
為替差益	33,273	3,969
投資事業組合運用益	—	89
その他	4,499	2,116
営業外収益合計	41,124	23,993
営業外費用		
支払利息	4,191	41
株式交付費	7,227	—
支払手数料	2,149	—
投資事業組合運用損	467	—
その他	32	433
営業外費用合計	14,068	475
経常利益	505,827	218,429
特別利益		
投資有価証券売却益	1,064	8,626
特別利益合計	1,064	8,626
特別損失		
固定資産売却損	781	—
減損損失	18,595	—
特別損失合計	19,376	—
税金等調整前四半期純利益	487,514	227,055
法人税等	88,764	122,526
少数株主損益調整前四半期純利益	398,749	104,529
四半期純利益	398,749	104,529

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	398,749	104,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,448	△22,695
為替換算調整勘定	61,338	126,539
その他の包括利益合計	63,786	103,844
四半期包括利益	462,536	208,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462,536	208,374
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,066,394	491,870	100,421	118,534	2,777,221	—	2,777,221
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,066,394	491,870	100,421	118,534	2,777,221	—	2,777,221
セグメント利益又は損失(△)	220,368	318,674	88,640	38,267	665,950	(187,179)	478,771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額187,179千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産の一部について、今後利用計画のない遊休資産の帳簿価格を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間において18,595千円でありませ

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,029,249	588,335	36,659	86,684	2,740,929	—	2,740,929
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,029,249	588,335	36,659	86,684	2,740,929	—	2,740,929
セグメント利益又は損失(△)	37,096	337,246	31,440	△6,852	398,930	(204,018)	194,911

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額204,018千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。